

# 辻元清美 国政報告会

7/18 日 11:00 ~12:00

要申込

「国政報告会」をYouTubeで生配信いたします。  
みなさまのご参加お待ちしております。

**申込方法** QRコード・URLからお申し込みください。

<https://www.kiyomi.gr.jp/net/>

※ 申し込み後、配信URL・ご参加に際しての注意事項を記載した  
申込確認メールをお送りいたします。申込確認メールが届か  
ない場合は申し込みができていない可能性があります。

**申込期限：7月15日(木)12:00**

お問合せ：辻元清美とともに！市民ネットワーク  
☎ 072-676-7135



オンライン対談 「コロナ終息に向けて!!これからどうする。」

8/28 土 19:00 ~20:00

YouTube配信

保坂 展人さん × 辻元 清美

(東京都世田谷区長)

司会：ののうえ 愛  
(大阪府議会議員)

清美チャンネル

検索



立憲民主編集局  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-12-4 ふじビル3F  
電話 03-6911-2301 / FAX 03-6911-2302  
Guiken@cdp-japan  
<https://cdp-japan.jp>

号外 2021 夏号



衆議院議員

## 辻元清美 国政NEWS

つじとも通信 VOL.43 2021 夏号

<連絡先>

辻元清美とともに！市民ネットワーク

- 大阪事務所 〒569-0071 大阪府高槻市城北町1-5-23  
エクセレント城北  
TEL: 072-676-7135 / FAX: 072-676-7136
- 国会事務所 〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2  
衆議院第二議員会館504  
TEL: 03-3508-7055 / FAX: 03-3508-3855
- URL <https://www.kiyomi.gr.jp>
- E-mail [info@kiyomi.gr.jp](mailto:info@kiyomi.gr.jp)

本誌の記事・写真などの無断転載・複写を禁じます。

# コロナ禍で広がる格差 水際対策・景気回復で命を救え！

東京五輪で感染拡大したら  
誰が責任を取るのか

新型コロナウイルス感染症の犠牲者が  
一万人を超え、今も感染で苦しんでい  
る方々がいらつしやいます。心からお見  
舞いを申し上げます。

私が今、一番心配しているのは、オリ  
ンピック・パラリンピックの開催で、デ  
ルタ株(インド変異株)などが再び拡が  
らないか、ということです。

多くの人たちの懸念の声を振り切つ  
て「何が何でもオリパラ」へと突き進む  
菅総理。党首討論で開催意義を問われ、  
五年前の「思い出話」しかできなかった  
菅総理は、厳しい現状への危機感が薄  
すぎます。一〇月の衆議院任期満了まで  
に必ず解散・総選挙なので、オリパラで  
選挙を有利にしたいという思惑でもあ  
るのでしょうか。

昨年、オリパラ延期を決めた時、当時  
の森JOC会長の二年延期の提案を振  
り切り、安倍総理が一年延期で押し切つ  
たと言われています。今年の九月までが  
自民党総裁の任期だったので「最後の花  
道」にしたかったのでしょうか。専門家  
は一年延期では難しいと指摘していた  
のに。ここでも安倍前総理の浅はかな判  
断のツケが回ってきているのではない  
でしょうか。



私の地元大阪では医療崩壊が起こり、病院で治療を受けられず亡くなった方々も多数出ました。この無念の死は、誰の責任なのか。「政治の責任」です。与党も野党も関係ありません。なのに行政の責任者である安倍前総理や菅総理たちから「自分の判断の誤りで犠牲者が出た、申し訳ない」という言葉を聞いたことがありません。責任を自覚されていないから？

「この危機は、誰がやつても難しい」と言う声が政府から聞こえています。菅総理は官房長官時代を含めて一年以上、コロナ対応してきたのですから、もう通用しません。オリパラで感染が再拡大し、病院に入れずに亡くなる人が一人でも出たら、菅総理には責任を取って辞めていただくしかありません。

## 野党の厳しい指摘で

### 動き出す政府の実態

コロナ禍で仕事を失った人たち、廃業に追い込まれた飲食店、授業料が払えず学校に行けなくなった学生たち……。

私は「なんとかせねば」と現場の状況を聞きまくり、国会で議論を続けました。しかし、私たち野党には執行権がありません。執行権は菅総理や吉村大阪府知事らにあるのです。

では、野党の役割はどこにあるのか？

「野党は批判ばかり」という声を聞きます。テレビのニュースで取りあげられる場面は政府と対立しているシーンが多いので、そんな印象になるのかも知れません。しかし現実とは違います。

新型コロナ対策では、政府と与野党の協議の場を設けて野党提案の支援策を実現しています。また、私たち野党は厳しい質問もしますが、これには政府の甘い対応を改善させる効果があるのです。

自民・公明の与党議員は、総理大臣や派閥の親分の顔色ばかりうかがって厳しい意見は一切言いません。GOTOトラベルもオリパラも、誰一人「やめよう」と言い出しませんでした。医療現場への支援、税金の使われ方、東京五輪のあり方など、厳しい指摘をして、やっと政府が動き出すという局面がたくさんありました。

私は、看護師の方々から「掃除も担っている」と聞き、菅総理に直接伝えました。「すぐ取り組む」と返事はよかったのですが、その後「どれだけ改善したか」予算委員会で質問すると、改善は三件だけ。私は救急車や療養施設でも清掃・消毒が追いついていない点も指摘。私の提案と確認をきっかけに、政府は改善に向け大きく動き出しました。「国会で現場の実態を明らかにしてくれてありがと

う」と大阪の医療関係者から連絡をいただきました。

「ワクチンタクシー&バス」も私の国会質問をきっかけに全国で広がりました。ワクチン接種のため高齢者がバス・タクシーを利用する費用を国が負担できるように、国交省や厚労省と何回も折衝し実現したのです。高齢者も助かる、経営難の事業者も助かる、ワクチン接種も進む。「三方よしの政策」です。現在、全国で七〇〇カ所近く（全市町村の約半分）に広がり、高槻市では「ワクチンバス」、島本町では「ワクチンバス」と「介護が必要な方々へのタクシークーポン配布（三千円）」が実現しました！

野党が厳しく問題点を指摘する理由は、政策を前に進め、より良くするためです。私が国会で「ソーリ、ソーリ」と訴えるのは、みなさんの「いのちと暮らしを守りたい」、そのために一ミリでも政策を良くしたい、そんな思いからなのです。

また、入管法改悪にストップをかけることができたのは、国会の中での粘り強い問題点の指摘だけではなく、国会の外の市民の力です。昨年はツイッターデモにより、政府に検察庁法改悪を断念させましたが、その一年後の同じ日に入管法改悪も廃案へと追いむことができました

した。

国会の中での論戦と国会の外でのムーブメントの力が「共振」すれば、政治を動かすことができることを証明したのです。

## コロナ禍で広がる格差、

### しんどい人を救うため

### 消費税を5%に！

この九年間の「アベスガ政権」で、日本は世界から取り残されてしまいました。秋には必ず総選挙があります。政権を





変え政治を変えなければ日本は沈んでいく、という危機感が日に日に増しています。

コロナ禍でさらに格差が広がりました。生活苦から自殺に追い込まれる人が増える一方、大儲けした企業もあります。現在の税制は、株などで儲けた一億円以上の所得の人は税率が下がっていくという不公平な税制です。公平な税制に是正しなければなりません。そして、コロナ禍で生活がしんどくなった人たちを救うために、消費税を5%に引き下げるべきです。

コロナ対応では、私たちは初めから徹底的なPCR検査と保健所拡充を提案してきました。オリパラ関係者には抗原検査を毎日行うようですが、なぜ一般の人に広げないのか。水際対策も一四日間の隔離の徹底をいまだに実行しようとしません。米国のような思い切った補償はまわりまわって景気対策になるのに、補償の出し惜しみをして経済成長率の見通しはG7で最低レベル。一刻も早く私たちの提案するコロナ対策を実行させて、感染を抑え込み経済を回復させなければ。

カーボン・ニュートラルの実現という掛け声のもと、安倍前総理らが中心になって「原発の復権」活動を始めました。

「アンダーコントロール」と世界に大ボラをふいてオリパラを誘致しただけあって、原発事故から何も学んでいないのでしょうか。

選択的夫婦別姓もLGBT差別解消法もアベスガ政権では実現しないことが明らかに。多様な生き方が認められる海外で働きたい、という女性や若者の「日本脱出」が増えています。アベスガ政権では多様な人材を集められない。これも経済が伸びない原因の一つでは。しかも男女平等度二〇位(二〇二一年)、報道の自由度六七位(二〇二一年)でG7中ほぼ最低です。

イーリス・アシヨア搭載艦(約一兆円)、辺野古の米軍基地建設(約一兆円)、核燃料サイクル……壮大な無駄遣いです。そして、IR・カジノで経済成長という不健全な幻想は一刻も早くやめさせねば。私たちが政権を担えば、これらの政策を見直し、医療や介護、子育て、教育に一円でも多く予算を振り向けようと考えています。

「森友・加計・桜を見る会」の三大疑惑、総務省など省庁の接待問題などの再調査はアベスガ政権ではできません。忖度・接待政治の大掃除をし、官僚もののびのび働ける国に変えなければなりません。



## NPO法成立、女性初の国対委員長 ——二五年目の総決算

初当選から二五年、永田町という男性優位社会に飛び込んでから四半世紀がたちます。一年生でNPO法や被災者生活再建支援法を成立させ、今も多くの私たちのいのちと暮らしを守っています。そして、これまで一人の総理大臣と議論してきました。民主党政権では国土交通副大臣として交通政策基本法成立に道筋をつくり、東日本大震災では首相補佐官として一〇〇万人の震災ボランティアの皆さんと共に被災地を駆け回りました。

立憲民主党を立ち上げ、女性初の国対委員長、予算委員会筆頭理事を務めまし

た。激しい与野党交渉を重ね、野党の代表として「国会を担いながら、政治の私物化に徹底的にあらがう四年間でした。

「戦争をさせない」「貧困を失くし、誰もがふつうに暮らせる社会をつくる」――突き詰めれば、私が魂を削って求めてきたのはその二つです。このコロナ禍ほど、自分の原点を見つめなおした日々はありません。今度のたたかいは、私自身の政治の総決算です。

政治に無関心でいられても、無関係ではられない。今日より明日、明日より明後日が、一ミリずつでも良くなるように、一緒に前に進みましょう。

辻元清美



**予算質疑で感染リスクを減らした連携プレー**

**辻元** 今国会、尾辻さんは初の総理入り予算委員会で大ブレイク。与党のベテラン議員からも評価されましたね。

**尾辻** 辻元さんは早くから、日本の甘い水際対策が変異株の感染を拡大させていると指摘していましたよね。二週間の自主待機中に市中感染が起きたと。

**辻元** 問題はオリパラ。当初は八〇万人の海外観客を入れようとしていた。

**尾辻** 政府はスマホで健康管理させれば、二週間待機なしでも拡大を防げると。入手した仕様書には、アプリを入れたら入国待機が不要とありワクチンも必要ない。これはもう「神アプリ」やと。

**辻元** 尾辻さんが巨額の開発費を暴いて、「神アプリ七三億円」をテレビも新聞もネットも報じた。

**尾辻** 不具合だらけのアプリCOCOAが約三・九億円なので約二〇倍。

**辻元** その後海外観客の受入れを断念したので、開発費は三八億円に減額。税金の無駄遣いを減らし、私らの連携プレーで感染リスクを減らすことができた。問題点を「見える化」して政府の暴走を止める、これが質問の力です。

**尾辻** 私、介護職だったので介護の課題についても質問しました。施設の介護職員はワクチン優先接種対象だけど、訪問介護のヘルパー等は対象外。どちらも対象にと提案したら、田村厚労大臣が「ヘルパーは代わ

りが利く」ととれる答弁！ いま介護職は有効求人倍率一五倍、高齢ヘルパーは感染の恐れもあり動けない。現場を知らないと追及したら、自治体が認めれば優先接種の範囲に入る、となりました。

**多すぎる大阪の死者数、二つの原因**

**辻元** 今国会、厚生労働委員会では何回質問したの？

**尾辻** 二〇回です。尾身分科会会長らに「大阪は災害状態、全国から医療関係者の派遣を」としつこく訴え続けました。それで五月段階で全国から約一六〇人の看護師の方に入って頂きました。

大阪では救急車が来ても入院先が見つからず、四〇数時間車内で待たされた方も。重症病床に入るべき人が軽症病床にいて、本

来入院すべき人が自宅療養。重症化し病院に運ばれた時はもう遅い。家庭内感染が介護施設に持ち込まれてクラスターが発生し、病院に運ばないから介護職員が防護服を着て陽性者をケア……。

**辻元** 私の身近にも看護師がいて、家庭はずっと緊張状態。そんな中、医療現場の負担をどう減らせるか伝えてくれる。私、細かく政府に提案しているのね。清掃業務は外注できるようにとか。

大阪は死者数が圧倒的に多くて、今年の五月は八五九人。四月が二七二人と東京より多い。一日五〇人の方が亡くなっていたとか、全国死者数の半数以上が大阪とか、胸が締め付けられる事態を招いてしまった原因をどう考える？

**尾辻** 医療崩壊が起きたからでしょう。原因の一つは、二月時点で病床使用率が五〇%として緊急事態宣言を解除し、各病院に病床数の削減を求めたこと。その通知によつて医療機関は病床を減らしました。いざ第四波が始まり「病床を増やせ」と言われても、一旦減らした病床はすぐには増やせ

**尾辻 かな子**  
おつじかなこ 衆議院議員  
大阪府第2区(大阪市生野区・阿倍野区・東住吉区・平野区)、立憲民主党大阪府連合代表代行 社会福祉士、介護福祉士、元大阪府議



ない。その典型が急性期総合医療センターの重症センターです。当初病床を三〇作つたものの、第三波では人手が足りず自衛隊の助けで何とか稼働させていました。しかし二月通知で病床を減らしたせいで、第四波で最初に動かせたのは一三のみ。

もう一つは吉村大阪府知事の要請が「まん延防止等重点措置」で、しかも遅かったこと。三月末には新規感染者数もステージ4の「感染爆発」を満たしていたのに……変異株のリスクを小さく見たと思います。「まん延防止」という名称も危機感が伝わりづら

尾辻 かな子

緊

急  
対  
談



く、手が付けられなくなった。その後の緊急事態宣言も、総理訪米を待ったために遅すぎました。

## 経済優先のはずの大阪コロナ対策で経済崩壊

**辻元** 大阪が全国に先駆けて宣言解除したとき、「おかしいな」と思った。菅総理も早く解除したかった節があるから連携していたのでは？ 松井大阪市長と菅総理は親しく、安倍政権の時から日本維新の会と官邸は歩調を合わせてきたように見える。

大阪と菅政権に共通する懸念は二つ。一つは経済優先の発想から対策が中途半端で、いつまでも再感染の悪循環から抜け出せず、逆に経済で大損失を招いていること。損して得これ」ができない。

もう一つは科学的知見に基づく判断が薄いこと。変異株について実証的な数字を把握しないまま、一し崩しの解除した。私が一



# 「医療崩壊、政治崩壊から大阪を守れ」

果が、大阪の第四波の感染拡大と死亡者数の爆発的増加ではないでしょうか。

## 危機対応できない

### 「箱物・イベント・キャンセル」行政

**辻元** 橋下知事誕生から十数年、維新政治の矛盾と弱点が露呈している。イソジン、雨合羽、通天閣フイトアップ——ウケ狙い施策ばかり。コロナ専用病棟や軽症者療養ホテルなどの重要施策は、テレビで威勢よく打ち上げても、実行は他の自治体より遅い。彼らの「改革」による危機対応時の医療体制までも弱体化させられたところに、変異株が襲いかかった。

**尾辻** 実際、大阪はいざというときに動けない自治体になっています。大阪市は昨年の特定額給付金一〇万円の支給が七月末までかかったし、今年の時短協力金も圧倒的に遅い。六月冒頭、福岡の支給率は九九%、申請最多の東京で八四%。しかし大阪は、全国最低の六四%！

**辻元** イソジンや雨合羽の話が出たとき、道頓堀に二キロのプールを作ると言っていたのと同じ手法でコロナに対応しているように見えたんだよね。三重行政解消という美名のもと、感染症対策など世界基準を満たす都市基盤の整備は後退した。亡くなった方はそんな「統治の犠牲者」ではないかと思う。

**尾辻** 教育現場も松井大阪市長がいきなりオンライン授業にすると行って大混乱でした。タブレットが一人一台あるのと、家庭にオンライン環境があるのは別物。十三市民病院を中等症患者の専門病院にした件も現場と相談はなく、病院長は報道で知ったそうです。ここは産科があつて、転院作業等が大変でした。中等症の病床は必要でも、結局医師やスタッフが何人も辞めた。産科の医師がコロナは診れませんし、風評被害で「子どもに悪影響が出た」と辞めた方もいました。

## 「大阪都構想」住民投票後、死亡者が三ケタに

**辻元** 実は、死亡者の数字を見ると昨年の一〇月は三六人、十一月七八人だったのが二月に二五九人へ増えている。これ、一月に「大阪都構想」の住民投票をやったからでは。その翌月に死者数が跳ね上がり、初めて三ケタになった。

**尾辻** 去年の冬は一番危ないと言われていました。第三波抑制や病床増に全力で取り組むべき一〇〜十一月に、一〇・七億円かけて住民投票を強行した。

**辻元** 住民投票は否決されて、年末年始に感染が少し落ち着いたなら、今度は否決された中身を広域一元化条例でやろうと。大阪市の権限と財源を大阪府が吸い取る条例にうつつ



を抜き、またコロナ対策がおそろそかになり、変異株に襲われた」というのが大阪の経緯では。和歌山の仁坂知事は「大阪府では濃厚接触者への検査に手が回っていない、対策ができていない」と異例の指摘をする一方、専門性の高い看護師を大阪に派遣し、和歌山に府内の重症患者を受け入れてくれている。これが本当の行政手腕でしょう。

**尾辻** 大阪府は今、時短協力金など様々な費用を議会にはかつていないんです。首長が自分の権限でできる「専決処分」を、多分日本一ぐらい連発している。議会の過半数は維新なので、ただでさえチェック機能が働いていません。これが広域一元化となると、例えばカジノ誘致も大阪市がノーと言えはできなかったのが、今後都市計画局でやるので、市民の意見が十分反映されなくなる恐れがあります。

感染症対策はエビデンスに基づいて実行しないと実効性が上がりません。でも吉村知事がテレビで打ち上げ花火を打ち続け、適切だったかどうか検証されないまま上書きされていく。知事はテレビに出るより現場の声を聞いてほしい。

**現場の知恵を制度化し、人を強くして経済を強化**

**辻元** 上からの力ずくの政治ではウィルスに勝てない、危機に対応できないことがコロナ禍ではつきりしたのよ。吉村知事や松井市長が進めるカジノ、万博も菅総理の手法と共

通している。菅総理は地元・横浜にカジノを誘致しようとしていて、大阪にとつての万博が菅総理にとつてのオリパラなわけ。万博経費もオリパラ同様に膨れ上がっているでしょ。

**尾辻** 万博の会場建設費が当初の一二五〇億円から最大一八五〇億円へ。増加分は府・市・経済界が二〇〇億円ずつ負担になるそうです。業績低迷の企業も多く、府・市も法人税収が落ち込んでいるのに。

**辻元** もう夢洲開発はやめて、万博は他で縮小してやった方がいい。維新が進めてきたのは、カジノに頼りインバウンド（外国人観光客誘致）に偏った経済だと思う。万博やカジ

ノの「箱物」イベント行政、大型開発を牽引力に強い都市にする「グレート志向」は高度成長期のモデルで古い。アフターコロナの大阪は医療や介護、子育てや教育を充実させて、人を強くして経済を強くしていきたい。保健所、病院、役所、学校などで働く公務員・教員バッシングからの脱却も大事。

**尾辻** デルタ株が広がっています。何とか感染速度を抑えながら、ワクチンを望む方に早く打って頂くことで第五波を抑えこむ。そこをやると日常生活・アフターコロナの希望の光がトンネルの先に見えてくるので、早くここを抜きたい。現場の声を封じるのはなく、現場の知恵を制度に換える、それが政治

家の仕事です。

**辻元** 大阪の未来を変えなきゃ。自治体議員とも力を合わせ一緒にがんばろう。



超党派LGBT議員連盟総会にて

## 「桜・前夜祭」の虚偽答弁をめぐり、安倍前総理と二度対決

安倍前総理の「桜前夜祭問題」。当時、私が新証拠を基に安倍さんの「虚偽答弁」を暴くたび、「コロナ禍で何をやっていいのか」という攻撃が寄せられ、脅迫状にまで発展する事態となりました。しかし、公

設秘書の刑事事件に発展すると、安倍前総理は一転謝罪し、「秘書、事務所がやった」と責任転嫁を繰り返しました。

そして、国会で一八八回も

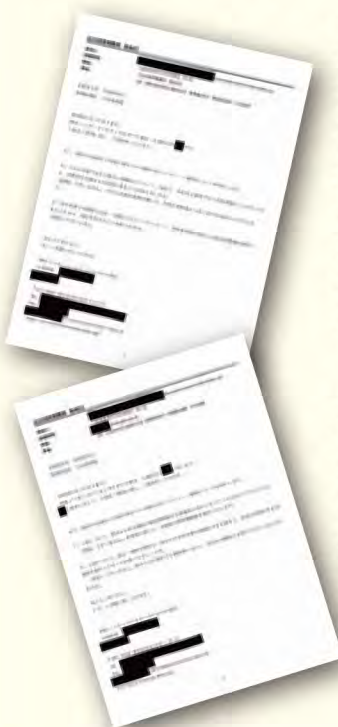
虚偽答弁を行ったこと（過去に例がなく、もはや修正のしようがありません）から、国会に安倍前総理が出席して説明・謝罪することに。その質疑者に私が選ばれました。

私は「公の場でのうそ、社長なら辞職だ」と迫り、新資料を示して安倍前総理に裏帳簿の存在を問いました。前夜祭の明細書・領収書の提出を求めたところ、安倍前総理は言い

訳を重ね、説明・謝罪の場で新たな「一九九回目の虚偽答弁」が生まれたと思います。

以前私が示した資料は、全国六〇〇人以上の弁護士が

安倍前総理を告発する際に、証拠として提出されています。政治の信頼を地に落とす桜問題、本人から真実が語られるまで終われません。





# 「いのちと暮らしを守る」コロナ対策へ転換を！

いま多くの人が生きづらさを抱え、女性や子どももの自殺率も増えています。私たちは辛抱強く提案を続けて政府方針を変えさせ、実現させてきました。

・休業給付金の支給を、大企業含めすべての非正規雇用の人を対象を拡大  
・減収世帯に三〇万円を変えさせ、全国民一律一〇万円給付を実現

・事業者の支援を「事業規模に応じた支援」に明確化、家賃補助や一年間の納税猶予を実現  
・検査目安「三七・五度以上の発熱四日間」を見直させ、PCR検査を拡充

・子育て世帯やひとり親世帯への支援を拡充、困窮学生への給付金を実現

そして私は、女性初の「予算委員会筆頭理事」として、「コロナ禍の国家予算を決める与野党交渉に臨みました。総務省違法接待問題などをめぐって激しいやりとりをしながら、私自身も菅総理への質問に立ちました。



## ●看護師の負担軽減策を拡大

私は早くから看護師の負担軽減を申し入れてきました。政府は清掃等を専門業者に委託すると決めたものの、まるで進んでいませんでした。また救急車や療養ホテルも清掃・消毒が追いつかないことが稼働率低下の原因と判明。一月二六日の予算委員会で私がこれらを指摘した後、看護現場等の負担が徐々に軽減されています。同時に菅総理に「一次補正のGOTO予算は四千億円も残っている。医療などに回して、皆でコロナ禍を生き残る予算へ」と組み換えを提案しました。

## ●医療スタッフ一万人オリパラ開催に必要と答弁引き出す

私の質問で衝撃の事実が判明。オリパラ開催には医師・看護師一万人が必要と政府が認めたのです。ワクチン対応しながら一万人!? ワイドショーも報じ、続く野党議員らが質問を重ねた結果、「海外観客は呼ばない」として医療体制縮小につながりました。

当初政府は変異株のリスクを軽く見ていたと思います。私の調査では、空港検疫で陽性反応がなく、自宅待機中だった入国者から感染が広がった事例が多数ありました。水際対策の見直しを迫りましたが、政府はオリパラに影響が出ないよう先送り。こうした結果、大阪や東京で変異株が蔓延したと考えられます。

## ●党議拘束外して夫婦別姓議論を！

三月一日の予算委員会、ワクチン配分が少なく自治体が困惑している実態を議論し「OCや組織委員会に国民の命や健康を守る責任はない。オリパラ中止のシミュレーションができるのは日本政府だけ」と提案しました。

この少し前、自民党国會議員らが「選択的夫婦別姓の実現を求める意見書」の不採択を求める文書を全国の自治体議員に配布、そこに丸川大臣の名前がありました。「オリパラ参加国中、法律で夫婦同姓を義務づけている国はあるか」と問うと、丸川大臣の答弁は「日本だけ」。自治体議員に圧力をかけて選択的夫婦別姓の実現をつぶそうとする人が、オリパラと男女共同参画の担当大臣?

オリパラまでに日本を世界標準にするため、党議拘束を外して選択的夫婦別姓法案を議論しようと言理に提案しました。

## ●守れ公共交通、提案したワクチンタクシー・バスが全国へ拡大

交通・観光産業が人材流出と産業衰退の危機です。国土交通委員会の私の質疑で貸切バス事業者九七・タクシー八九%が雇用調整助成金に頼っていることを政府は認めました。

「雇調金を延長しないと雇用を維持できな

い」と訴えると、政府が初めて「感染状況も踏まえて対応する」と七月以降の継続に前向きな回答！大きな成果でした。



また、高齢者を接種会場に運ぶ等の「ワクチンタクシー・バス」も提案。私が会長を務める超党派タクシー議員連盟でも取り組みが進み、国交省も力を入れた結果、六百超の自治体へ急速拡大中。高齢者、自治体、事業者や労働者と「三方よし」の政策。私の地元・高槻市・島本町でも始まっています！

## ●クォータ制、LGBTQ、NPO

自民党の野田聖子議員はじめ、超党派の女性議員とクォータ制実現のための勉強会を立ち上げました。呼び掛けたのは田原総一朗さん。定期的に議論し早期実現をめざします。

LGBTQの差別解消につながる法案を議員連盟で合意しました。しかし、自民党内部でまとまらず、今国会では成立できませんでした。これ以上苦しむ人を出さないためにも、一刻も早い成立をめざします。

NPOは震災や感染症などで社会が危機に陥った時ますます重要な役割を果たします。私が代表を務めるNPO議連、制度改正のために働きました。





島本町が男女同数の議会に！

## 辻元の政策を地元自治体から全国へ

四月に島本町長・町議会議員選挙（四月一日告示・一八日投票）が行われました。町長選挙ではつじともネットが応援した山田こうへいさんが再選。辻元清美議員をはじめ多くの議員、各種団体などが協力して勝利を勝ち取ることができました。二期目のかじ取りとなる山田町長には、若さと持ち前の行動力で島本町政を引っ張っていただきたいと思います。

また、町議会議員選挙では、つじともネットが応援した、立憲民主党公認 東田まさきさん、市民派の戸田靖子さん、中田

みどりさんが当選されました。

島本町議会は今回の改選で全国でも珍しい男女同数の議会となりました。ジェンダーギャップの解消が叫ばれ、日本では特に政治の世界で遅れが目立っていると言われる中で男女同数の議会の誕生は、政治分野における女性の参画の促進につながっていくと考えられます。島本町から全国へこの流れが広がっていくことを期待しています。

（つじともネット事務局）



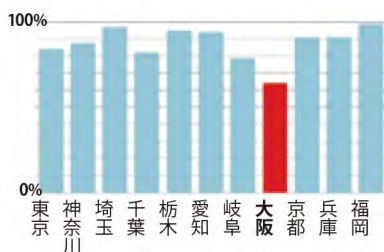
### 府政短信

## 大阪の時短協力金支給のスピードは全国ワースト！府民目線のチェックが必要です！

長引く新型コロナウイルス感染症による影響で、飲食店の時短営業が続いています。緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の対象となった都道府県で、飲食店への時短協力金が支給されていますが、大阪府の支給スピードは全国ワースト1。1月分の入金はまだ、というお店もあり死活問題です。

一方、昨年度の大阪府予算の専決処分（議会を通さず知事が独断で予算を執行する）は、率・額ともに全国ナンバー1。府民目線のチェックが働かない事が協力金

の支給の遅さに繋がっているのではないのでしょうか。緊急時だからこそ、政治・行政の都合ではなく、府民の目線での施策が必要ですよ。



（大阪府議会議員・のうえ愛）

## 辻元清美のツイッターが話題です。



昨年9月に再開したツイッター。動画も次々アップして辻元清美の「素顔」が見えるとフォロワーが増え続けています。また、調査の過程で入手した資料等をすばやく公開して、ニュースになることもしばしば。ぜひフォローをお願いします！ またフェイスブックや公式HPでも辻元清美の「日常」やメッセージを発信していきます。ご覧いただくとともに、情報拡散のご協力をお願いします。

## つじともネット会員募集中

会報「つじとも通信」を年2回お届けするほか、国政報告会などのご案内を差し上げます。

●一般会員：年3,000円 ●学生会員：年1,000円 ●賛同会員：年12,000円

## つじともネットへのご寄付のお願い

果敢に闘い続ける辻元清美をご支援ください。

現在の状況を考えると、もっともっと活動の場を広げなくてはなりません。ぜひご協力をお願いします。

※政治資金規正法により、団体・法人からの会費・寄付金のお申込みはできません。また外国籍の方からの寄付、他人名義・匿名による寄付を受けることは禁止されています。

郵便振替 00960-3-150256 加入者名 辻元清美とともに！市民ネットワーク

## ポスターの掲示にご協力ください！

辻元清美の活動に共感して下さる方、ポスターを貼ってください。ぜひ辻元事務所までご連絡ください。

お問合せ TEL072-676-7135 FAX072-676-7136 E-mail: info@kiyomi.gr.jp

編集・発行：辻元清美とともに！市民ネットワーク（つじともネット）